

認定NPO法人フローレンス

アニュアルレポート 2017

ANNUAL REPORT 2017



新しいあたりまえを、すべての親子に。

Florence

認定NPO法人フローレンス

私たちは、社会変革のイノベーター集団としてこれからも挑戦し続けます。

Vision

目指す社会像

みんなで子どもたちを抱きしめ、子育てとともに何でも挑戦でき、
いろんな家族の笑顔があふれる社会

Mission

果たす使命

親子の笑顔をさまたげる社会問題を解決する

Strategy

私たちの戦略

社会問題を事業によって解決する

- ・社会問題への「小さな解」を、事業として生み出す
- ・政治や行政と共に「小さな解」を政策にし、全国に拡散する
- ・自らも最良の事業者として、インフラを創造し、最後の一人まで助ける



病児保育問題
ひとり親家庭の貧困



赤ちゃん縁組

赤ちゃんの
虐待死問題



障害児保育問題

Florence
認定NPO法人フローレンス

私たちの
取り組む
社会問題



こども宅食

とどく、つながる、みらいのために

子どもの貧困問題



待機児童問題

みんなで社会変革事業

働き方革命事業



代表理事 駒崎弘樹より

複雑化する社会課題に対し、いつも私たちスタッフ一同と共に変革を進めて下さっているのが支援者、支援企業の皆さんです。2017年、寄付者の方と直接お会いする初の「事業報告会」を試験的に小さく開催したのですが、皆さんと一緒に起こしてきた奇跡をアツク喜び合いました。仲間がいるからフローレンスはもっと遠くに行けると改めて感じています。2018年も大きなインパクトを起こしていきましょう。これからも、よろしくおねがいします！

仲間の皆さんと社会変革に取り組んでいます。

現在約500名のマンスリー寄付会員、ひとり親支援寄付会員約1030名、
2017年度に単発でご寄付いただいた方約1300名

ご寄付者の声



ひとよう
一青窈 様
歌手・タレント

大学の後輩である駒崎さんとフローレンスの活動を応援してきました。私も子育て中の母親です。すべての赤ちゃん、子どもがずっと笑顔でいられたらイイなあと思うので私もできることから頑張ります。



おおくらたかひろ
大倉崇裕 様
ミステリー作家

私は子育て中でもありますが、結婚前に母の介護を独りで担った経験があります。預け先や相談先がないと最悪失職して共倒れとなるのは介護も子育ても同じ。子育て中の全ての人に頼れる場所はあるべきだと感じ、それを事業化しているフローレンスを応援しています。

2017年フローレンスを寄付や助成金、サービス提供等で支援して下さった法人様 (一部ご紹介)

ソーシャルインパクトを最大化するパートナーとして、
たくさんの法人企業様、団体様にお力添えをいただいています。

Bit & Roll 合同会社
C-links
株式会社CROSSY
株式会社FiNC
GlobalFun
gooddo
JAMMINアイテム購入者 一同
K-IP ALLIANCE JAPAN
NIコンサルティング
Photream(家族写真の出張撮影)
株式会社PR TIMES
SMARTSTREAM
株式会社 the liorect
waja
アクサ生命保険株式会社
アクトローカル
あずさ監査法人
アユワ株式会社
社会福祉法人雲柱社 五日市保育園
インヴァスト証券
エンパワー・サポート株式会社

株式会社大塚商会
株式会社カタログハウス
関西電力
暁星中学・高等学校 シャリテ
小杉ママのチャリティーリユース
小林製薬
サザビーリーグ
株式会社サンゲツ
ジャガー静岡
ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会
シングル10株式会社
合同会社 西友
セールスフォース・ドットコム
センチュリーコート丸の内
ゾーホー・ジャパン株式会社
ソフトバンク株式会社
ダイヤモンド社
寶紙業株式会社
武田薬品工業株式会社
特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム
鳴海製陶株式会社

日本オラル株式会社
日本財団
日本郵便
公益財団法人パブリックリソース財団(Give One)
株式会社バリューブックス
株式会社ピアンカ・ウェブ
株式会社ファンケル
不二ネームプレート製作所
ペイン・アンド・カンパニー・ジャパン・インコーポレイテッド
ミセラボ
三菱食品株式会社
一般社団法人 村上財団
ヤフー株式会社
ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部
ユースシアター・ジャパン
ユナイテッドアローズ
株式会社林間
ロバート・ウォルターズ・ジャパン
ワークシフト研究所
(50音順)
ほか 多数の企業・団体さま



西友様はレジ募金やスタートアップ事業への支援を継続くださっています。



waja様のファッションチャリティプロジェクトと共催したトークイベント「GIFT」



ひとり親家庭へのXmasカード送付は法人企業様のボランティアによるもの



日本オラル様の2018 Oracle Giving Grant Programに選定いただきました



ユースシアター・ジャパンの3都市で開催されたチャリティイベントに参加



カタログハウス様のご支援でひとり親家庭に「病児保育月2回目無料券」提供

赤ちゃん縁組事業

2週間に1人産まれたばかりの赤ちゃんが遺棄・虐待により死亡する問題を解決するため2016年4月からスタートした「赤ちゃん縁組事業」の2年目

フローレンスの「赤ちゃん縁組事業」は予期せぬ妊娠に悩む女性の相談に乗る「にんしんホットライン(無料)」と、実母がやむを得ない事情により養育することができない場合、赤ちゃんを育てる親につなぐ「特別養子縁組」を柱としたモデルです。

サービスインからこれまでに977名の予期せぬ妊娠に悩む女性の相談に対応し、8組の新しい家族の誕生を支援しました。「にんしんホットライン」で対応した予期しない妊娠の背景は「若年の妊娠」「出産直前のパートナーとの離別」など様々です。複数の困難な事由が重なることも少なくないことがわかりました。

相談者の状況に応じた適切なソーシャルワ

クの提供により、独りで悩んで医療機関を受診しないまま母子ともに危険な状態に陥ってしまうことを防ぐことができました。そして8人の新しい命が温かい家庭に迎えられたことを、ご支援いただいた多くの皆さまにぜひ知っていただきたいです。また、2017年度は特別養子縁組を社会に広げるために子どもを迎えたいと希望する夫婦を対象とした研修「特別養子縁組入門研修・実践研修」(助成:ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会様)を開始しました。2018年度も引き続きすべての子どもが愛情にあふれた家庭で育ってける日本社会の実現に向けて新たに取り組んでいく予定です。

赤ちゃんを迎えた養親さんのお話

「とても幸せな毎日です。多くの皆さまから支えられて娘を迎えることが出来たわけですから、その方々のためにもしっかり育ててあげたいと思っています。まだまだ日本では、養子縁組の事例が少ないですが、私達が幸せな家族でいることが、社会の理解にも繋がるのではないかと思います。」



8組

これまでの縁組成立



2017 → 2018
FLORENCE
TOPICS

2017年度、支援者の皆さんと共に起こした社会的インパクト

皆様のご支援のおかげでたくさんの親子へのサポートが実現しました!

障害児保育事業

日本初の障害児保育園ヘレン誕生から3年、障害児訪問保育アニーサービスインから2年、計88名のご家庭に保育を提供することができました。

88名

これまでに保育を届けた数



障害児保育園ヘレンは2014年東京都杉並区に開園した日本で初めて「医療的ケア児に保育と療育を提供する施設」です。障害児訪問保育アニーは、2015年にサービスインした「医療的ケア児や慢性疾患児を自宅でお預かりし保育を提供するサービス」です。

2018年3月、障害児保育園ヘレンでは初めての卒園児が巣立ち、障害児訪問保育アニーでは2人目となるお子さんが無事卒園をされました。それぞれ、障害児保育園ヘレンではこれまでにのべ55名、障害児訪問保育アニーではのべ33名の子もたちに保育を届けてきました。障害児を育てる母親の常勤雇用率はわずか5%と言われていますが、ヘレンとアニーを利用する保護者

は希望者全員が就業の機会を得ています。

また、ヘレンやアニーには、「もうひとつの卒園」があります。それは、お子さんが、それまで通うことができなかった、地域の認可保育所などへ転園すること。

ヘレンやアニーで保育を受け、「子どもは子どもなかで育つ」環境で日々過ごすことにより、心身の発達が促され、医療的ケアが必要なくな

る子どもたちが毎年現れており、これまでに今春の6名を含めて14名が地域の保育園に転園しています。

こうした変化は、私たちフローレンスはもちろん、ご家族や主治医も予想していませんでした。子ども達の「自ら育つ力」の可能性を最大限のばす保育と療育の提供を、支援者の皆さんと共に引き続き行っていきたいです。

今春認可保育園へ転園した子ども

障害児保育園ヘレンすかも	1名	酸素吸入の医療的ケアがなくなり、認可保育所に転園
障害児保育園ヘレン荻窪	2名	経管栄養の必要がなくなり、認可保育所に転園1名。気管切開をしているが認可保育所の看護師が医療的ケアに対応できるよう自治体の手配転園1名
障害児訪問保育アニー	3名	酸素吸入が必要なくなり認可保育所に転園3名

病児保育およびひとり親支援事業

2005年からスタートした「病児保育事業」は2017年累計50,000件の病児保育実績を突破しました。ひとり親支援も10年でのべ950名をサポート。

フローレンスは日本初の訪問型・共済型病児保育を事業化したことから設立されました。事業開始時には「病児保育」という言葉すら一般的ではありませんでしたが、共働きがあたりまえとなった現在は社会になくはならないインフラとなってきました。保育業界で最多となる50,000件の病児保育提供実績の裏には、50,000回の親御さんの安堵と、50,000回のお子さんの笑顔

がありました。2008年からは、最も病児保育を必要としている「ひとり親家庭」に月会費1,000円、保育料1時間あたり1,000円の負担で病児保育を提供するひとり親支援プランを開始しました。これは、多くの皆さまからの寄付を原資としてひとり親家庭を支える事業です。これまでに約2,400名の寄付者の方が、ご支援を届けて下さいました。



950名

ひとり親支援人数

ひとり親支援プラン利用会員さんから届いたお手紙



みらいの保育園事業部

※小規模保育事業部は名称変更しました。



2010年、待機児童問題解決のモデルとして小規模保育所「おうち保育園」の開園からスタートした保育園運営事業。2015年に小規模保育所が国の認可制度となつてから、本モデルは、2015年1,500ヶ所⇒2016年2,400ヶ所⇒2017年3,500ヶ所と全国に広がっていき今では地域のインフラになりました。その功績により2017年人気子育て雑誌が選ぶ「ベアレンディングアワード」を保育業界で初めて受賞しました。フローレンスとしては2017年度「おうち保育園」を新たに仙台市と杉並区で2園開園し、渋谷区では訪問型保育の「待機児童レスキュー隊」のサービスも始めました。

また、シチズンシップ保育をコンセプトとした全年齢型認可保育園「みんなのみらいをつくる保育園」という新ブランドも誕生させました。初台(渋谷区)、東雲(江東区)の現場で、障害児保育園ヘレンとのインクルーシブ保育に取り組んでいます。



全国
3500ヶ所
小規模保育所



おやこ基地シブヤ開園

「すべての子どもに保育の光を」をテーマに、東京都渋谷区に誕生した複合型保育施設。病児保育室フローレンス初台、マーガレットこどもクリニック(小児科)、みんなのみらいをつくる保育園初台、障害児保育園ヘレン初台が一体と

なった、フローレンス初のフラッグシップビルです。日本でもこれほど多様な保育と医療が一体となった現場は他にありません。病児、障害児、健常児のどの子も自らの育つ力を輝かせます。

みんなの保育の日2017開催 ~子どもは社会で育てよう!~

2017年4月19日(フォー・イク=保育の日)に保育事業者、民間企業、行政、保育士、保護者などが一堂に会して、様々な角度から保育に光を当てるイベントを開催。業界を超えた横断チームによる実行委員会を組織し、フローレンスはイベント事務局を務めました。このイベントはニコニコ生放送でライブ中継され、

累計28,000人が視聴。六本木ニコファールの会場にはのべ360名が来場しました。「保育」とは、子どもが育つ力を社会みんなで保つこと。保育を保育業界の中だけで語るのではなく、今まで繋がることがなかった人たちが手を繋ぐことにより、本来の「保育」についてオープンかつ前向きに議論ができる場となりました。



2018年度の取り組みについて

保育ソーシャルワーカーの配置

訪問型の保育、障害児保育、一時保育、園保育と様々な現場を運営する中で、親子のリスクを最も早期に発見し適切な支援につなげる「保育ソーシャルワーク」の必要性を感じています。実験的こうした役割を配置し、実践・体系化していきたいと思ひます。

赤ちゃん縁組を発展させ、家庭養育の推進へ

2017年8月に厚生労働省が示した「新しい社会的養育ビジョン」では、日本においても要保護児童の養育を「施設」から「家庭」を主流に転換していく方針が示されました。フローレンスの「赤ちゃん縁組事業」で培った新生児の特別養子縁組支援のノウハウを軸に、今後は新生児だけではなく

家庭養育を必要とする幅広い年齢の子どもを支えるべく、里親支援の領域にも挑戦していきます。

(仮称)障害児保育園ヘレン中村橋(練馬区)など新園開設予定

2017年度、医療的ケア児加算のロビイング活動を積極的にに行い、加算も制度化されましたが、その補助額は不十分なものでした。不安定である現状の事業モデルを改変し、新たな枠組みでの事業モデル化を試行します。一方で、新規開園にかかる費用は1園5,000万と負担が重く、新規立ち上げにおいては皆さんからのご支援なくしては実現していけません。

障害児訪問保育アニーの利用者・利用地域拡大

多くの人が利用を待っていらっしゃるため、アニーでも利用者拡大を進めていきます。2018

年度は新たに18名のお子さんに保育を提供することを目標に、保育スタッフの採用を推進します。アニー保育スタッフ1名の育成に伴う研修・人件費は約95万円です。こうした費用は全て持ち出しとなるため、皆さんからのご寄付を活用させていただいています。

東京マラソン2019チャリティの寄付先団体にはじめて選出されました

日本最大のランイベント「東京マラソン」にチャリティランナーの枠があるのをご存知ですか?2019年は4,000人のチャリティランナーが寄付先団体を応援するために走ります。寄付先団体として、フローレンスが今回初めて選定されました。障害児保育問題を解決するため、代表駒崎やヘレン、アニーのスタッフも走ります。応援よろしくお祈りします!



子ども宅食はふるさと納税を使って運営しています。詳細と応援はこちらから <https://www.furusato-tax.jp/gcf/270>



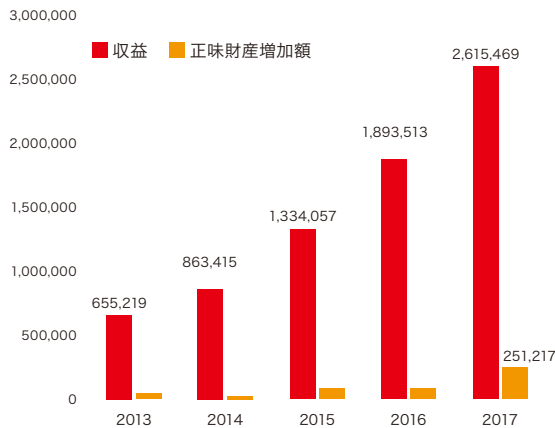
約1000世帯を目標に
文京区の児童扶養手当、
就学援助受給世帯



データの前提

NPOはあくまでも「社会課題の解決」を存在意義とし、利益は継続的な活動をしていくための手段です。とはいえ責任を持って持続可能な運営を行うためには、企業と同様に財務健全性を度外視することはできません。フローレンスはそうした財務健全性を保つため、本ページにおいて財務情報の開示を行い、経営の透明性を高めてまいります。NPO会計基準に従っております。ご了承ください。

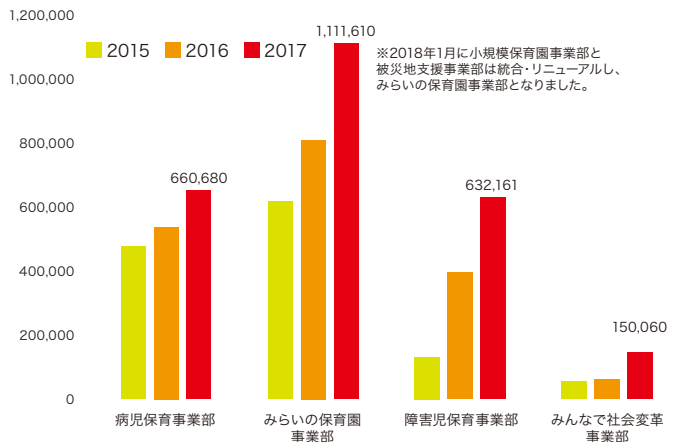
収益・正味財産増加額 (単位:千円)



2017年度は収益が2,615,469千円で、前年度比721,956千円(38.1%)増加、正味財産増加額(≒利益)は251,217千円で、前年度比163,921千円(187.7%)増加でした。

NPOは寄付者や会員に利益を分配することを禁止されているだけであって、利益を上げることが禁止されているわけではありません。私たちは社会課題解決のために、その利益を次年度以降の投資に使っていきます。

事業部別収益 (単位:千円)



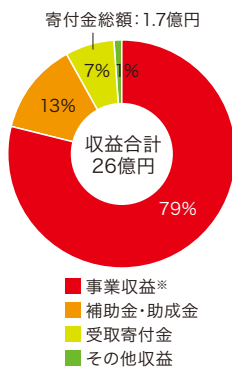
病児保育事業部 主に利用会員数が5,726名から6,604名に増加したことにより、収益が121,452千円増加

みらいの保育園事業部 主にみんなのみらいを作る保育園東雲・初台の開園により、収益が298,806千円増加

障害児保育事業部 主にヘレン東雲・初台の開園、既存園での利用実績の増加により、収益が231,620千円増加

みんなで社会変革事業部 主に相続財産寄付の受取により、収益が85,270千円増加

収益の内訳



フローレンスの収益構成には2つの特徴があります。

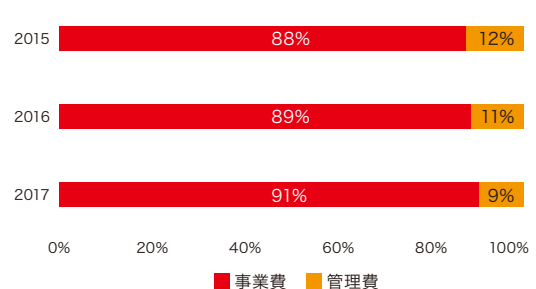
①持続可能な事業運営

フローレンスはサービス提供による事業収益をメインの収益としているため、持続可能性の高い事業運営を行っています。

②寄付者からの支援

フローレンスは事業収益をメインとしたソーシャルベンチャーでありながら、数多くの支援を受けながら事業を行っております。2017年度は1.7億円の寄付をいただくことができました。寄付金は、主に新規園の開設補助や事業投資などに使用し、社会課題解決に向けた推進の力とさせていただきます。たくさんのご支援ありがとうございました。

事業費比率



経常費用のうち事業に使用された費用の割合を示す事業費比率は、2017年度91%でした。フローレンスでは事業費比率90%前後を目安として事業運営しております。

初めての認定更新

フローレンスは、2012年12月7日東京都より認定NPO法人の認定を受け、このたび初となる5年目の更新を行いました。認定NPO法人とは、NPO法人のうち「一定の基準を満たしている」と所轄庁(都道府県・政令市)が認めた法人のことです。自治体による認定制度は2011年からはじまりましたが、フローレンスは東京都の認定NPO法人として最も初期に認定された法人です。一般のNPO法人と認定NPO法人の一番の違いは【寄付者への税制優遇】です。

税制優遇を受けられます

個人が寄付をした場合

「寄付金控除」を受けられます。フローレンスは東京都から認定を受けた「認定NPO法人」です。ご寄付は「寄付金控除(税額控除)」の対象となり、確定申告を行うことで最大で寄付した金額の最大約50%が控除されます。

法人が寄付をした場合

損金に算入できる金額が拡大されます。「特別損金算入限度額」扱いとなり、一般のNPO法人への寄付と比べ、経費として扱える寄付金の限度額が高くなります。

相続財産を寄付をした場合 寄付をした相続財産は相続税が非課税になります。

フローレンスに関する主なメディア露出

2017年のメディア露出件数TV40件/新聞117件/WEB110件/ラジオ10件/雑誌33件 全310件

NHK:「障害や病気の子どもも受け入れる保育施設が開設」 TBS:報道特集「医療的ケア児と教育」 テレビ朝日:スーパーチャンネル「こども宅食スタート」 読売新聞:「待機児童解消が先の声」 毎日小学生新聞:「仕事ずかん 病児保育スタッフ」日本経済新聞:「病児保育室の新設広がる」毎日新聞:「特別養子縁組民間団体に助成 来年度から」 HUFFPOST:「特別養子縁組に本気で取り組む理由」 Hanakoパパ:「つるの剛士さんと駒崎樹樹さんが考える、待機児童解決の方法」プレジデントウーマン:「働き方革命 認定NPO法人フローレンス」など

2017年に代表駒崎樹樹およびフローレンススタッフが登壇した講演・イベント31件



誰もが安心して子育てできる社会のために、皆様のご支援をお待ちしております。
皆様のご支援が、未来の社会を変える第一歩につながります。子どもたちにより良い社会を残すため、どうか、ご支援をお願いします。

遺贈の受付をはじめました

～遺言による寄付、相続財産の寄付～

「遺贈」とは、遺言によって財産の全部または一部を、特定の個人や団体に無償で寄付すること입니다。遺言書において遺贈先にフローレンスをご指定頂くことで、フローレンスが取り組む社会問題の解決へ使わせて頂くことができます。

詳細はこちらから → <http://florence.or.jp/izou>

Amazon Payでの寄付受付を開始

～Amazonアカウントを利用した寄付が可能に～

日本のNPO法人で初！寄付の仕組みにAmazon Payを導入しました。Amazonアカウントに登録されているクレジット情報や住所氏名を利用するため、寄付時の手続きがより簡単で手軽になりました。

Amazon Payでの寄付はこちらから →

<https://florence.or.jp/lp/monthly/#tab2>



毎月定額の寄付で応援する

フローレンスマンスリーサポーター

→ 詳細はこちらから

<https://florence.or.jp/lp/monthly/>



フローレンスは病児保育をはじめ、赤ちゃんの虐待死問題、障害児保育問題、待機児童問題など、子ども・親子を取り巻くさまざまな社会問題の解決に挑戦しています。しかし、課題は日々増え、複雑さを増していきます。今こうしている間にも……。あなたの、ほんの少しの行動で、悲しむ親子や子どもたちが助かります。手を差し伸べてほしいのです。月3,000円～であなたも社会課題解決を、私たちと一緒に。

■プランは4つ。その都度、自由な金額でのご寄付もありがたくお受けしております。

3,000円/月

5,000円/月

10,000円/月

15,000円/月

毎月、継続的にご支援いただけることで、活動を安定して運営することができます。皆さまのご協力をよろしくお願いします。

ひとり親家庭の子育てと就労継続を応援する

ひとり親家庭支援サポート隊員

→ 詳細はこちらから

<https://florence.or.jp/lp/support-single/>



母子家庭の多くが「貧困状態」に置かれています。ひとり親家庭は、低収入のうえ、子育てでも仕事もすべて一人で抱えざるをえません。「子どもの急病時」に仕事を休むことはままならず、失業のリスクが常に存在します。私たちはこの問題を、病児保育サービスによる「ひとり親家庭支援事業」で解決していきます。どんな境遇の子どもも笑顔で暮らせる社会を実現するために。

■プランは5つ。その都度、自由な金額でのご寄付もありがたくお受けしております。

ほし組

1,050円/月

ほし組隊員8名で
ひとり親家庭1世帯をサポートできます。

つき組

2,100円/月

つき組隊員4名で
ひとり親家庭1世帯をサポートできます。

ちぎゅう組

4,200円/月

ちぎゅう組隊員2名で
ひとり親家庭1世帯をサポートできます。

おひさま組

8,400円/月

おひさま組隊員1名で
ひとり親家庭1世帯をサポートできます。

ぎんが組

16,800円/月

ぎんが組隊員1名で
ひとり親家庭2世帯をサポートできます。

自由な金額の寄付で応援する

単発寄付



詳細はこちらから <http://florence.or.jp/otmonthly>

フローレンスマンスリーサポーターのページより「今回のみ寄付をする」を選択。定額・連続ではない、その都度、自由な金額でのご寄付もありがたくお受けしております。クレジットカードまたは銀行振込、Amazon Payにて承ります。

その他の支援方法

例えば数百円からのデイリー支援



詳細はこちらから <https://florence.or.jp/donate/>

不要になった本や服、余ったポイントなど…
あなたならではの気軽な方法で。

振込口座

三菱UFJ銀行 深川支店 普通預金1784434
特定非営利活動法人フローレンス

ゆうちょ銀行 口座記号番号 00100-7-773944
加入者名 NPO法人フローレンス

※口座名義は「トクビ」フローレンス」と表示されます。※お振込者名の前に「キフ」とご明記ください。(例)「キフヤマダタロウ」

※詳細はフローレンスのホームページをご覧ください。 ※都度の寄付もありがたくお受けしております。

※フローレンスに対するご寄付は「寄付金控除(税額控除)」の対象となり、確定申告を行うことで寄付金額の最大約50%が税金から控除されます。

Florence
認定NPO法人フローレンス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目14番地1 KDX神保町ビル 4F TEL:03-6811-0903/FAX:03-6811-0902

フローレンスについて詳しく知りたい方、
寄付についての詳細はこちらから

<https://florence.or.jp>

フローレンス

で検索